

# 教育委員会会議録（1月定例会）

<u>日 時</u>	平成27年1月30日（金） 午後3時05分から午後3時50分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長職務代行者 委 員 教育長	上村 由美 伊藤 吾子 中山 俊恵
<u>欠席委員</u>	委員長 委 員	森嶋 鎮一郎 花田 和郎
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 総務課課長 学校施設課長 学務課長 学務課課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 新体育館建設課長 指導課長 郷土博物館課長 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 教育研究所長 宮田調理場長 総務課課長補佐(兼)庶務係長 総務課課長補佐(兼)計画財務係長 総務課係長(企画員) 総務課主幹 総務課主事	作間 忍 窪田 康徳 川崎 浩行 関根 博之 大友 正徳 矢板 恭介 佐川 勝宣 住谷 玲 千葉 忠好 内山 信弘 村田 和雄 鈴木 士郎 大沢 靖司 齋藤 淳 中村 大介 滑川 達也 松永 朗 鈴木 由紀恵 宇佐美 亮

## 議 事

### 1 報 告

報告第 1 号 教育委員会 1 2 月定例会の会議録について

### 2 その他

- (1) 日立市学校給食共同調理場運営審議会答申の概要について
- (2) インフルエンザによる学級閉鎖の状況について
- (3) 運動公園新中央体育館の愛称募集結果及び愛称の決定について
- (4) 学校評議員会実施報告について
- (5) 指定文化財の指定に係る諮問について
- (6) その他
- (7) 次回の教育委員会の日程について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

午後3時05分

### 委 員

それでは、只今から1月の教育委員会定例会を開催します。

本日は、森嶋委員長が欠席されていますので、委員長に代わって議事を進行させていただきます。

なお、花田委員も欠席されていますが、出席委員数が過半数を超えていますので、会議を進めさせていただきます。

今月の定例会の傍聴希望者はありません。

## 2 報 告

### 報 告 第 1 号

教育委員会12月定例会の会議録について

### 委 員

報告第1号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

### 全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

## 4 そ の 他

### (1) 日立市学校給食共同調理場運営審議会答申の概要について

### 委 員

続きまして、その他に移らせていただきます。

その他(1)について、総務課課長から説明をお願いします。

### 総 務 課 課 長

日立市学校給食共同調理場運営審議会答申の概要について、説明します。

今回の諮問は、宮田調理場の施設全体の老朽化や、新しい学校給食衛生基準等に対応するために、新たな場所に調理場を建て替える方向で検討を進めていますが、一方では、十王調理場も老朽化が進んでいまして、設備の更新や、将来的な少子化による児童生徒の減少等を勘案しながら、今後の調理場の体制について、考えていかなければならないということで、学校給食共同調理場の適正配置について、審議会に諮問したものです。

審議会からは、1月28日に答申がありました。

答申の内容としましては、1点目が、「学校給食共同調理場の適正配置については、現在の3場体制から2場体制に移行することが妥当である。なお、宮田学校給食共同調理場の老朽化が進んでいることから、十王学校給食共同調理場と統合して、早急に新たな場所に建設することが望まれる。」というもので、2点目が、「新たな学校給食共同調理場については、本審議会における附帯意見を踏まえて建設されるよう要望する。」というものです。

附帯意見は、1点が、「建設用地については、調理場間の連携や配送時間を考慮した場所とし、将来的な建て替え等を踏まえ十分な広さを確保すること。」、もう1点が、「新たな学校給食共同調理場の建設に当たっては、アレルギー食をはじめ、新たな対応も含め、安全安心な学校給食を安定的に提供できる体制を確保すること。」というものです。

今後は、この答申を受けまして、新たな学校給食共同調理場の早期建設に向け、準備を進めていきたいと思っております。

**委員** 3場体制から2場体制に移行する時期は、どのぐらいの時期になりますか。

**総務課課長** 審議会からは、早急な建て替えが要望されていますので、早期に着手することとしますが、まずは用地の確保をし、その後、建物の設計、工事などに移りますので、早くとも4、5年かかるものと想定しています。

ただし、市が現在進めている市役所新庁舎、新体育館建設などの大型事業もありますので、市の財政状況によっては、それ以上の年数がかかることも考えられます。

いずれにしましても、早期建設に向けて、事務を進めていきたいと考えています。

**委員** その間、現在の宮田調理場で調理することは、衛生上問題ないのですか。

**総務課課長** 現在、宮田調理場で採用しているドライ運用という方式を継続して実施していきますので、衛生上は特に問題ありません。

**教育長** 確認のため、各調理場の建設年度を報告してください。

**総務課課長** 建設年度は、宮田調理場が昭和58年、南高野調理場が平成19年、十王調理場が平成14年です。

委員 宮田調理場は、建設後30年以上経過していますね。建て替えが完了する頃には、40年近く経過するということですか。

総務課課長 そのようにならないように、できるだけ早急に進めていきたいと思えます。

## (2) インフルエンザによる学級閉鎖の状況について

委員 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖について、1月29日現在の状況を報告します。

これまでに学級閉鎖措置を行った学校・幼稚園は、幼稚園が1園、小学校が15校、中学校が6校で、特別支援学校は行っていません。

これらを総計しますと、閉鎖学級数は、累計で211学級となります。

次に、学校・幼稚園における学級閉鎖措置の経過についてです。

1月13日に今季最初の閉鎖措置が、十王中学校で行われました。

1月の第4週に、市内全域で学級閉鎖の拡大がみられ、小学校12校、中学校3校、幼稚園1園で学級閉鎖となり、最多時である1月22日には、35学級が閉鎖となりました。特に、会瀬小学校、田尻小学校、日高小学校、日高中学校で流行しました。

1月の第5週には、新たに、仲町小学校、大久保小学校、油繩子小学校、坂本中学校等で、学級閉鎖又は学年閉鎖が発生しました。

各校の流行の特徴等についてですが、まず、田尻小学校では、5年2組で最初の閉鎖があり、以降他学年に拡大しました。

会瀬小学校では、第4週に5年生と6年生が学年閉鎖となり、翌週に1年生から3年生までの間で学級閉鎖が実施されました。

日高中学校では、第4週に1、2学年で3件の学級閉鎖がありましたが、翌週には0件となりました。

学級閉鎖措置の目安としましては、病気による欠席者が学級、学年、学校全体で20%を超過した場合に、学校医と協議の上で、学校長が閉鎖を決定していますが、超えない場合でも、予防のために閉鎖を決定する場合があります。

続いて、インフルエンザに感染した場合の出席停止措置についてですが、発症した後、発熱した日の翌日を1日目として、5日を経過し、かつ、解熱した後2日、幼稚園児については3日を経過するまでの期間は、出席停止の措置をとっています。

なお、教育委員会としましては、幼稚園、学校に対し、平成26年11月28日に注意喚起について通知しています。

また、市民に対しての情報提供としまして、市及び教育委員会ホームページにおいて、学級閉鎖の状況を掲載し、随時更新しているところです。

委員 昨年と比べて、閉鎖の時期や、学級数などはどのようになっていますか。

学務課長 今年度は、昨年度より最初の閉鎖措置が8日早く行われました。また、学級数については、昨年度の同時期よりも79学級多くなっています。

昨年度よりも、早い時期に感染が拡大している状況です。

委員 教職員は、予防接種を励行しているのですか。

学務課長 予防接種は任意ですが、極力、予防接種を受けるようお願いしています。

委員 今年度は、予防接種を行っていても発症する人が多いように感じます。

### (3) 運動公園新中央体育館の愛称募集結果及び愛称の決定について

委員 それでは次に、その他(3)について、新体育館建設課長から説明をお願いします。

新体育館建設課長 運動公園新中央体育館の愛称募集結果及び愛称の決定について、説明します。

愛称の募集については、平成26年9月20日から11月19日までの3か月間、公募方式により行い、総数で334人の方から、553点の作品の応募がありました。

選考に当たりましては、8名の市民委員で構成する選考委員会において、最優秀賞1点、優秀賞3点が選出されました。

最優秀賞は、我妻 務さんから応募がありました「池の川さくらアリーナ」です。

優秀賞3点は、諸岡 知宏さんから応募がありました「サンライズアリーナひたち」、小布施 雄也さんから応募がありました「さくらアリーナ日立」、大窪 由美子さんから応募がありました「池の川アリーナひたち」です。

選考理由についてですが、最優秀賞作品は、市民の幅広い年代層から親しまれている体育館の呼称「池の川」という地名を残し、応募結果において最も多かった日立市のシンボルである「さくら」を盛り込んで命名されていることが、高い評価を受けました。

優秀賞作品3点は、それぞれ、日立市の命名の由来、震災後も毎年花を咲かせ勇気づけてくれた桜、子どもから大人まで現在も親しまれている名称を使用した愛称が選出されました。なお、3点いずれも、複数の方から同じ愛称の応募がありましたので、厳正な抽選により受賞者を決定しました。

なお、愛称は、未来・復興へと始動する日立市の新たなスポーツ・文化施設として全国に発信していくため、選考委員会において最優秀賞作品の語頭に「日立市」を補作した、「日立市池の川さくらアリーナ」に決定しました。

今回の愛称募集については、小学校1年生から85歳の方まで、幅広い年齢層の方から応募がありました。特に、小・中学生などの10代の方から多くの応募がありました。

**委員** 応募人数よりも応募作品が多くなっていますが、一人何点でも応募できたのですか。

**新体育館** 何点でも応募できます。

**建設課長** 今回は、最大で1人当たり14点の応募がありました。なお、小学生では、1人当たり5点の応募が最多でした。

#### (4) 学校評議員会実施報告について

**委員** それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 学校評議員会の実施結果について、報告します。

まず、学校評議員会の目的についてです。

1点目が、学校、家庭、地域が連携協力しながら一体となって、子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより一層推進するというものです。

2点目が、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握、反映しながらその協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たすというものです。

次に、1学期と2学期に実施した内容についてです。

主な協議内容は、学校運営、授業参観の様子、学力向上、生徒指導、防災・安全、地域連携等です。

特に学校運営については、毎回多くの意見をいただき、各学校の運営に活かされているところです。

また、今年度は、各学校において策定された「いじめ防止基本方針」についても、多くの意見をいただいています。

防災・安全については、学校と地域との合同防災訓練の継続や、見守り体制への協力に関する意見が多く出ています。

各学校からは、これらの意見について、今後の学校運営に具体的に活かしていくという報告を受けています。

**委員** 地域連携の強化について、評議員の方から具体的な案が出されたものはありますか。

**指導課長** 特に、学力向上について強い関心を持たれていまして、地域人材を活用して子どもたちの学力を向上できないか、という提案がありました。

学校としては非常にありがたいことですので、早速、地域の方を招いて授業を行ったり、指導課でも実施していますが、学生ボランティアを活用した授業支援を行ったりしている学校もあります。

**委員** 教職員に地域の行事へ参加してほしいという要望もあったようですが、具体的にどういった行事が想定されますか。また、実際に参加することは可能なのでしょうか。

**指導課長** 地域の方が考えていらっしゃるのとは、学校での子どもの姿と、地域の中での子どもの姿の違いについて、教職員の方に行事に参加していただいて、実際に見てほしいということです。

具体的には、先日、郷土かるたの大会がありましたが、その時の非常に熱心で白熱した子どもたちの姿を見てほしいという意見がありました。

つまり、教職員が子どもと一緒に地域の行事に参加することで、学校教育にも生かすことができるのではないかという意見です。

#### (5) 指定文化財の指定に係る諮問について

**委員** それでは次に、その他(5)について、博物館課長から説明をお願いします。

**博物館課長** 指定文化財の指定に係る諮問について、説明します。

市内には、すでに国・県・市が指定している文化財のほかにも、次の世代に伝え、残していかなければならない重要な文化財があり



ます。

それらの文化財を、新たに市指定の文化財とするため、日立市文化財保護条例第4条第1項の規定に基づきまして、日立市文化財保護審議会に対し諮問するものです。

諮問する文化財は、下孫停車場記念碑と、水漏舎小学校跡の2か所です。いずれも日立市が管理する土地で、それぞれ、「守る会」が保全しています。

まず、常陸多賀駅前の交番前に立っている、下孫停車場記念碑です。

この記念碑は、石灰岩でできていまして、高さが270cm、幅が123cm、奥行きが15cmあります。

この記念碑は、明治30年に、現在の常磐線の水戸・平間が開通したことを記念して、現在の常陸多賀駅、当時の下孫駅に建立したものです。

鉄道の敷設に当たりまして、地元の有志が大変苦勞したことを、野口雨情の伯父である野口勝一の撰文によって、明治31年2月に建てられたものです。

指定する理由ですが、鉄道の開通は、地域社会の変貌をとげる最大要因となった事柄であり、その社会的・歴史的重要性から、その経緯を記した下孫停車場記念碑は、重要な文化財であると思われるからです。

次に、水漏舎小学校跡です。

中成沢町2丁目に所在し、現在は、都市公園である「池の川弁天池公園」となっています。

水漏舎小学校は、日立市名誉市民である瀬谷義彦先生の生家で、住宅は戦後まで存在しました。

明治4年、政府が文部省を設置し、翌年には学校に関する法令集が出されました。

これを受け、当時、小学校の設置を急いでいた茨城県は、開業願を提出させた上で、私塾や家塾も小学校として認める方針をとりました。

水漏舎小学校は、明治6年に成沢村に開設された家塾であり、明治10年に油縄子小学校と合併するまで、神官であった瀬谷登之介が、自宅で教鞭を取っていました。

指定の理由ですが、水漏舎小学校跡は、当市における学校教育発祥の地の一つとして意義があるとともに、校舎として使用されていた家屋の写真や、配置図などの資料が現存していることから、郷土の教育の歴史を学ぶ上で貴重な文化財であると思われるためです。

いずれも、後世に残してかなければならない重要な文化財として、日立市文化財保護審議会に諮問するものです。

委員 指定文化財に指定されるメリットはありますか。

博物館課長 指定された場合、それが所有者や管理者にとっての誇りとなるのではないかと思います。

また、文化財には有形、無形などの種類がありますが、有形の場合、それを保存・保護するときに、市から補助金が出る可能性もあります。

委員 水漏舎小学校跡は、無形文化財になるのですか。

博物館課長 文化財は、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物の4種類に大別されます。

史跡である水漏舎小学校跡は、記念物になると考えています。実際には、教育委員会が文化財保護審議会に諮問しまして、答申があった時点で、文化財の区分も決定します。

委員 市内には、市の指定文化財以外の文化財はどのぐらいあるのですか。

博物館課長 市内には69件の指定文化財がありまして、そのうち、市が42件、国が3件、県が24件を指定しています。

## (6) その他

委員 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課長 2015年日立市成人祝の実施について、報告します。

去る1月11日、日曜日に、日立シビックセンター新都市広場で開催しました。

対象者1,941人のうち1,466人が参加しまして、参加率は75.5%となっています。

当初の計画どおりの内容で、無事故のうちに行うことができました。

委員 その他で、ほかにある方はいますか。

スポーツ 2点の案件について、説明します。

振興課長 まず、第36回日立駅伝競走大会の結果について、報告します。大会は、去る1月18日、日曜日に、久慈川日立南交流センター

から市民運動公園陸上競技場までの19.13kmを、一般・高校生の部は5区、中学生の部は9区に分けて実施しました。

結果についてですが、一般・高校生の部では、これまで社会人チームが優勝していましたが、今回は、緑岡高校が優勝しました。

中学生の部では、滑川中学校が優勝、日立一高付属中学校が2位となりました。

次に、1月25日に開催しました、池田浩先生の講演会について、報告します。

来場者は630人で、市民会館の1階部分がほぼ満席になりました。当日は、昨年1月に実施した前回と同様に、日本代表選手のユニフォーム、スパイク等を展示し、大変好評でした。

今回は、プレゼント用として日本代表の本田選手、香川選手、長谷部選手のサイン入りユニフォーム、代表選手のサイン色紙、サイン入り写真等を、池田先生に御用意いただきました。

また、鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、県の国際推進室、筑波銀行からも多くのプレゼントグッズを提供いただき、高校生以下の来場者288人全員に、抽選形式で何らかのグッズが当たるように配慮をしました。

また、池田先生への質問をされた高校生以下の来場者5人に対しては、サイン入りユニフォーム、色紙を、壇上で先生から直接プレゼントしていただきました。

子ども対象の内容でしたが、講演を聴いて生活を改めたという高校生の話も耳にしまして、やはり、代表選手が子どもに与える影響は非常に大きいと感じました。

委員 高校生以下の来場者も多かったのですか。

スポーツ振興課長 全体で288人でしたが、そのうち少年団関係者は60人程度、中学生が一番多い130人程度、高校生は90人程度でした。

委員 その他で、ほかにある方はいますか。

視聴覚センター所長 ひたち映像祭について、説明します。

ひたち映像祭は、様々な映像関連作品の発表の場として、映像制作の普及啓発を図るとともに、映像愛好者同士の交流や研修の機会とすることを目的として開催します。

開催期間は、2月7日、土曜日から2月15日、日曜日までの9日間です。

内容についてですが、初日の7日は、かげ絵同好会、かげえ少年

団「虹」による「かげ絵公演」で、実際に影絵の人形を触って体験できるワークショップも併せて開催します。

8日には、ケーブルテレビJWAYの番組制作スタッフによる「パパ・ママ必見！プロから学ぶホームビデオ教室」を開催し、来場された方には、ご自分で撮影された子どもの映像をスタッフに見てもらい、いろいろなアドバイスを受けていただきたいと思います。

14日には、「ひたちシネマスペシャル in ひたち映像祭」と題しまして、シビックセンター多用途ホールを会場に、第57回ブルーリボン賞作品賞を受賞した、現在のいわき市にあった湯長谷藩の参勤交代のドタバタ劇を題材とした「超高速！参勤交代」という映画を上映します。また、当日は、いわき市の考古資料館の協力により、当時の湯長谷藩に関するパネルの展示も行います。

最終日の15日には、県立産業技術短期大学の協力により、「みんなヒーロー！映像の中に入って遊ぼう」と題した、ARと呼ばれる技術、拡張現実を体験できるイベントを行います。

**委 員** それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

**博物館課長** 「平成26年度版 市民文化遺産ガイドブック」の刊行について、報告します。

文化遺産には、身近にあり、遺産として貴重なものでも、あまり知られていないものがあります。そのような、地域の活性化や市民の愛郷心を高められると考えられる遺産を、市民文化遺産と定義し、広報・啓発するため、ガイドブックを作成しました。

このガイドブックは、自然や歴史などの各遺産の中から、市民文化遺産として登録した104点を、市内北部・中部・南部の3ブロックに分け、解説や活用方法を紹介するものです。

学校やコミュニティ等に配布しまして、学区内の探検、探訪や各コミュニティ主催の魅力再発見ウォークなどに活用していただくとともに、新たに日立市に来られた方々のガイドブックとして活用したいと考えています。

なお、ガイドブック配布後の残部については、販売をしたいと考えています。

#### (7) 次回の教育委員会の日程について

**委 員** それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 平成27年2月25日、水曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後3時50分

委員 それでは、以上をもちまして、教育委員会1月定例会を終了いたします。